

# かぜとやねのミルフィーユ

-みんな笑顔のコミュニティセンター-



○人を優しく招き入れるアプローチ



○開放感があり馴染みやすい施設



○西側から眺めた分割して利用する多目的スペース

## ○コンセプト

奥武山公園は県民が利用する公園である。本施設は住まいの地域から一歩とびでたコミュニティセンターとして多くの人が利用でき趣味や、学びたい事を通して人々が笑い、助け合える場となる施設を目指した。目的を持って人は集う。やりたい事、約束事、しなければならぬ事……。でも、その目的が見つからない人は、どこに行くんだろう。本施設はあそこに行けば、何かやっているぞと予感や希望を感じさせる施設を目指した。

## ○計画

本計画地は南北、西側と木々に覆われている。その森の下で屋根が優

しく重なりあい、建物全体で人を招き入れる表情を演出した。夏季の季節風（南東）の風向が開かれた場所である立地を生かし建物分棟させ自然通風の積極的な採用と大屋根があっても採光しやすい計画とした。また分棟により中の様子が様々な角度から分り訪れた人が興味を持ちやすいよう計画した。

多くの人を受け入れる場として、建物周囲に外でも、中でもない縁側である中間領域を設け、親しみやすい空間づくりを目指した。学び、実践し、発表する場として利用できるような空間を分割する事に加え、更にステージを増やす事もできるようにし、複数のグループが同時帯に講義や発表ができるように計画した。

## ○公園景観への配慮

ホルダーや木の濡縁で自然素材を利用し、森林風景と調和するよう配慮した。

## ○コスト

建物と半屋外空間の構造を一体化させることで構造体の少量化を図りコストカットを目指した。また県内で流通している資材、県内で施工できる工法で計画した。

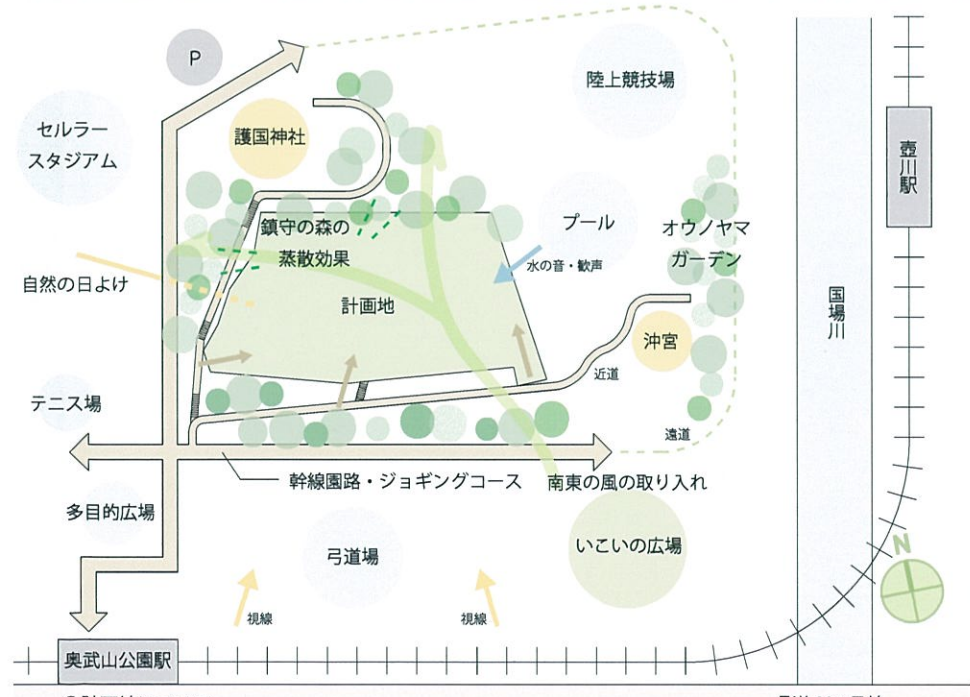
## ○環境について

自然通風、雨水利用の自然循環システムを活用し環境負荷低

減を図る。重力換気による熱の吹き溜まりを各屋根間のスリットから排出させて快適な空間とする。太陽光発電を用い、自然エネルギーの利用、断熱効果を図る計画とした。森の蒸散効果に加え、軒先にミストシャワーを設け省資源で冷却効果を図る。

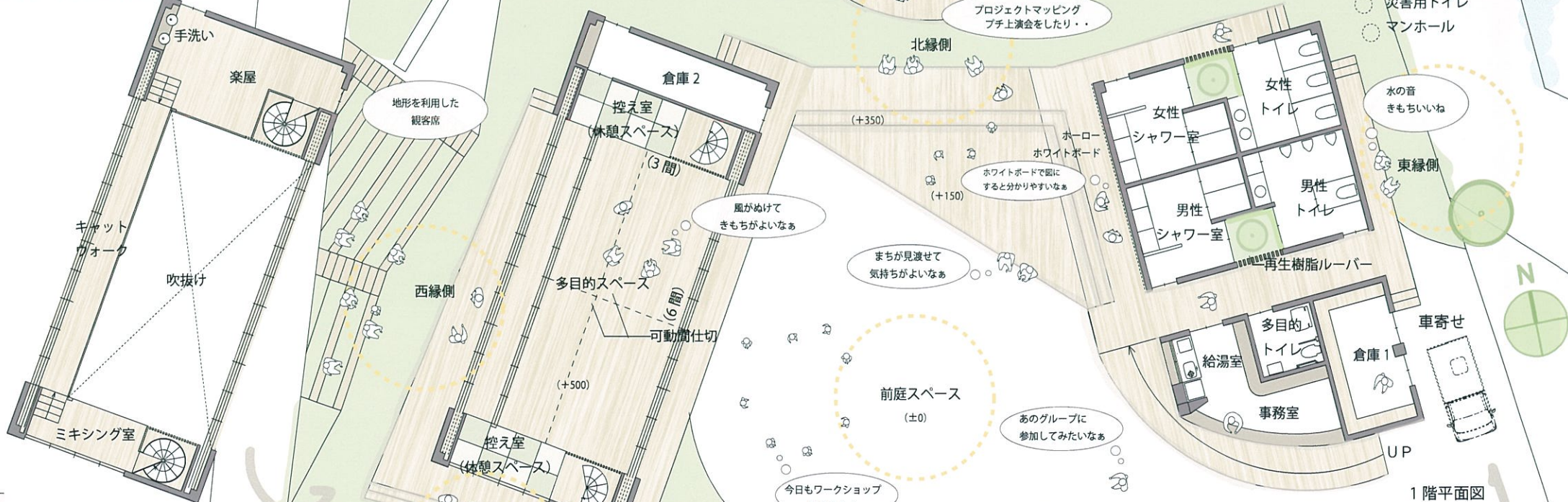
## ○法規について

調査にて前庭スペースが屋内的用途であるとの結果から、耐火建築物と考へ、主要構造部は耐火構造、仕上げは不燃材料を用いるものとする。



○計画地について

周囲をスポーツ施設で囲まれ、ジョガーも多いことから、幹線道路から雑木林越しに屋根が垣間見える計画とし、人を誘う表情を演出した。また春、夏、秋にかけて最大限に活用するよう、建物も自然通風の積極的な取り入れを計画した。



2階平面図

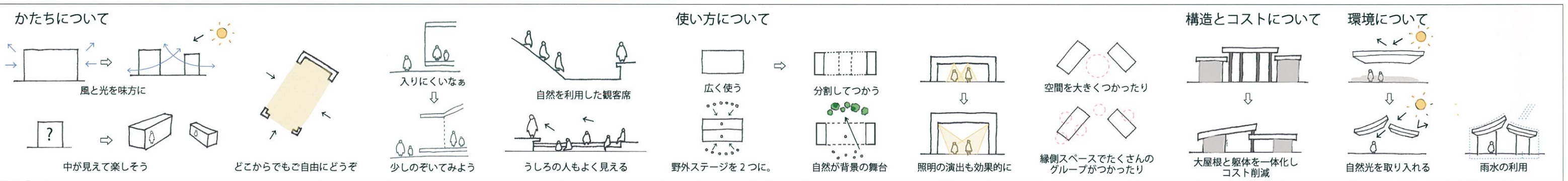
S=1/200

1階平面図

S=1/200

アプローチ





工程表	H28.4	H29.1
基礎	■ (施工図、資材発注期間)	
躯体	■	
仕上	■	
電気	■	
設備	■	

建築概要		
用途：コミュニティセンター	階数：地上2階	延床面積：590.1㎡
構造：鉄骨造	建築面積：495.8㎡	居室面積：243.3㎡

